

父親の育児支援マニュアルに関する研究

研究分担者 小崎 恭弘 (大阪教育大学健康安全教育系教育学部教員養成課程家政教育部門・教授)
高木 悦子 (帝京科学大学保健医療科学部看護学科・准教授)

研究要旨

背景:「わが国における父親の子育て支援を推進するための科学的根拠の提示と支援プログラムの提案に関する研究(20DA1002)」により、自治体における父親支援の現状や父親支援のニーズについて一定の理解を行うことができた。また全国の自治体を中心とした、さまざまな父親支援の取り組みや好事例についても集約することができた。これらの知見をもとに「父親の子育て支援推進のためのプログラムの確立に向けた研究(23DA0701)」において、より具体的に父親支援の全国的な浸透を図るために、それらの取り組みの支援ツールとして総合的かつ実践的なマニュアル作成の必要性が高まった。それらに鑑み本研究において父親支援のマニュアルの作成を目指す。

結果:本年度は父親支援マニュアル作成に向けた情報収集と、父親支援の取り組みの分析をおこなった。具体的には父親支援の取り組みの先進的な事例として、アメリカ、カナダの北米の父親支援プログラムにもとづき検討を行った。また父親支援の先駆的な取り組みの有り様や、それらのプロセスについて検討を行いマニュアル作成の参考とした。これらに基づき、父親支援マニュアルの内容の検討と試案作成に取り組んだ。

考察:北米の父親支援マニュアルは、政府はもとよりさまざまな主体が作成を行っている。また「父親支援」と言ってもその父親の範囲はとて幅広く、さまざまな父親像を対象としたマニュアルが存在している。例えば、移民者や英語を母国語としないものなど、人種の多様性を視野に入れたものである。またシングルファザーや、児童虐待やドメスティックバイオレンスなどの被経験者を対象としているものもあり、家族や子育てにおけるさまざまな課題や困難事案を抱える父親の支援などの取り組みも見られた。これらは北米の国々の多様性や家族観をダイレクトに体现しており、父親の育児のあり方の多様性や同時に課題への対応が見られる。これらに対して父親支援は、その歴史や研究の構築などまだ始まったばかりであり、多様な父親の存在は認めるものの、その多様性に対して詳細な取り組みはあまり見られない。また父親支援の取り組みにおいても、自治体や団体ごとに特徴的な取り組みや成果を上げているものも散見される。しかしそれらについてのマニュアル等は、それぞれの取り組みや関係者レベルでのやり取りや発信に終始しており、明確なマニュアルの作成や取り組みはほとんど見られない。そのような点を考慮すれば、まずは多くの一般的な父親の支援の確立に目を向け、そのための父親支援マニュアルの作成を第一次的に進めることがわが国の現状に適したものであると考える。

研究協力者

阿川 勇太 (大阪総合保育大学児童保育学部乳児 丸山 佳代 (東京医科歯科大学大学院・保健衛生
保育学科・講師) 学研究科)
足立 安正 (摂南大学看護学部在宅看護学・公衆
衛生看護学領域・講師)

A. 研究目的

最終的な本研究の目的は、「父親支援マニュアル」の作成である。父親支援マニュアルとは、全国の基礎自治体における母子保健担当者をメインとした自治体が行う父親支援活動・プログラムについての立案・実施をサポートする手引きの総称である。

現在過去に類を見ない勢いで少子化が進展しており、同時に子どもと子育てを取り巻く環境は十分なものとは言い難い状況となっている。そのような社会状況の中で、子育て支援の充実と拡充が図られてきている。支援の充実は、子どもを取り巻く環境のあらゆる場面や機会において、そのサポートや取り組みのレパートリーを増やし、手厚い支援を作り上げている。若者の生活や結婚の支援や、妊娠、出産、子育てと切れ目のない給付や制度の充実である。また支援の拡充は、これまで母親を中心として構築されてきた子育て支援の対象者を、広げる試みである。例えば、高齢者や地域の活動などあり、また企業やこれから親になる若者層などへの取り組みである。

その文脈の大きな柱として、もう一人の親である父親が注目をされ、その支援のあり方などが求められ検討されるようになった。わが国では、2010年頃の「イクメン」ブームを端緒として、父親の育児が注目されるようになった。しかし一方で約10%の父親が産後うつと判定され(Nishimura, 2015¹⁾; Suto & Takehara, 2021²⁾; Nishigori, 2020³⁾)、国内の父親を対象にしたメタ解析では、その頻度は生後1年までで8.2%-13.2%と示され(Tokumitsu, 2020⁴⁾)、この結果は国際的なメタ解析の結果の8.4%(Cameron, 2016⁵⁾)よりやや高い数値となっている。このように、父親の役割が変化するとともに、父親への支援のあり方や支援ニーズも変わってきている。自治体は父親支援の必要性を認めているが、計画・実施段階で困難を抱えており(小崎, 2016⁶⁾)、父親支援事業を実施している自治体は2019年度で全国のわずか6.5%に留まっている。そのため、父親支援のモデルの開発や効果の検証、普及支援が課題とされている。

その普及を支える一つのツールとして、父親支援マニュアルの作成が求められている。父親支援のさまざまな取り組みやプログラムは存在するが、それらを包括的に捉え実施の支援を行う手引きやマニュアルはこれまであまり例を見ない。本研究は父親支援の全国的な普及と浸透を目指し、父親支援への関心があり今後父親支援に取り組む、行政等の担当者向けに作成するものである。

B. 研究方法

今年度の研究は以下の2点となる。

1. カナダ・アメリカの北米の父親支援プログラムと、そのマニュアルの収集
2. わが国の父親支援プログラムの分析より、父親支援マニュアルの試案の作成

1. 「父親支援に関する海外調査~諸外国における父親支援に関する情報収集~」(竹原,加藤 2021⁷⁾)により、北米において国や州などでさまざまな父親支援の取り組みがなされていることが明らかになっていた。また先行研究(佐藤 2010⁸⁾,坂本 2017⁹⁾)からも、アメリカやカナダでの父親支援の取り組みやプログラムが報告されている。先行研究からの調査と2023年5月~10月におけるアメリカ、カナダ国内の文献・公的機関やNPO等父親支援関係団体のインターネット等による情報の収集を行った。

2. 「わが国における父親の子育て支援を推進するための科学的根拠の提示と支援プログラムの提案に関する研究(20DA1002)」において実施された、「全国基礎自治体で実施されている父親育児支援好事例の調査結果」を活用し、それらの取り組みや内容、実際のプロセスや実施工夫などを、研究班内で検討を重ね、父親支援マニュアルの試案の章立てとその内容について検討を行った。自治体やそれぞれの取り組みにおいて、地域性や人口規模、あるいは事業の目的や行政内の担当部署など、様々な差異や特徴が存在した。できる限りそれらの特徴を加味しながらも、普遍的な項目の精査を行い担当部署、担当者が利用しやすい項目の検討を行った。また父親支援の取り組みの内容においてもさまざまなレベル差が存在していることから、これまで父親支援に関わりを持ってこなかった担当者や初めて取り組むものを対象として、全体的な背景や理念なども内容として取り上げるようにした。

(倫理面への配慮)

今年度の研究に関してはインターネットや先行研究による文献、プログラムなどの既存情報の収集であり、個人情報の収集・利活用は行っていない。また父親支援マニュアルの試案については、これまでの調査したものをもとに研究班内での取り組みであり倫理面で特段の配慮は必要ない。

C. 研究結果

1. カナダ・アメリカの北米の父親支援プログラムと、そのマニュアルの収集

2023年の5月～10月においてカナダ、アメリカの父親支援プログラムと、それに関わるマニュアルについて収集を行った。収集についてはアメリカでの生活経験があり、子育て支援に関心のあるポルトゥ小林恭子氏の協力を得た。

具体的には、プログラム・マニュアルの名称、主催者・団体、URL、内容等がわかるものがあれば具体的な説明、マニュアルに関しては目次、以上の項目として調査を行った。

・カナダから10種類、アメリカ合衆国から9種類の合計19種類のプログラムとそれに伴うマニュアルの収集を行った。

【カナダ:父親支援に関するプログラムマニュアル】

(1) 父親をサポートし育児参加してもらう方法

How to Support and Include Dads

The Public Health Agency of Canada カナダ公衆衛生局 (連邦衛生局)

<https://www.canada.ca/content/dam/phac-aspc/documents/services/publications/healthy-living/how-support-include-dads/how-support-include-dads.pdf>

父親が地域とつながり、支援するための10の方法に関する啓発ポスターについて

「内容 啓発を意識した1枚もののポスターであり、具体的な父親への関わりや態度について記載されている。」

(2) 積極的な父親の参加について

What is positive father involvement?

The Public Health Agency of Canada カナダ公衆衛生局 (連邦衛生局)

<https://www.canada.ca/content/dam/phac-aspc/documents/services/publications/healthy-living/positive-father-involvement/positive-father-involvement.pdf>

「内容 父親の積極的な関わりの意義についての啓発の1枚もののポスターである。」

父親が子どもと一緒にいる時間を持つことは重要だが、積極的な父親の参加に最も影響を与える要因は、父親と子どもの関係の質である。

積極的に関与する父親：

父親の役割を「手伝う」ではなく「共同の親」とみなす。

子どもと温かく愛情に満ちた関係を築く。

子どものニーズに合わせて関わり方を調整する。

遊びやしつけなど、多様な形で子育てに関わる。

(3) 父親が関与することのメリット

Benefits of Father Involvement

The Public Health Agency of Canada カナダ公衆衛生局 (連邦衛生局)

<https://www.canada.ca/content/dam/phac-aspc/documents/services/publications/healthy-living/benefits-father-involvement/benefits-father-involvement.pdf>

「内容 父親の育児のメリットを、子ども、母親、父親の三者の視点から簡潔に述べている。」
研究では、父親の積極的な関与が子どもにとって良い結果と強く関連していることが分かっている。

・子供へのメリット

認知的

感受性が高く、穏やかで、不安の少ない父親と接する乳幼児は、精神発達においてより高い認知力がある。

幼児期における父親の積極的な関わりは、長期的にも良い結果をもたらす。

父親が子どもの学校に関わることは、子どもの認知機能の著しい改善につながる。

両親が協力して子どもの就学を支援することで、その効果は増大する。

感情面

思春期前および年齢が上がるにつれて、うつ病にかかる確率が減少する。

青年期の薬物使用を減らす。

子どもの自立心を高める。

社会的

父子関係の質は、幼児期の挑戦的行動やその後の非行を減らす中心的な要因である。

父親が積極的に関わることで、家族関係が改善する。

身体的

子どもの全般的な健康状態を改善する。

子どもの不慮の怪我のリスクを減らす。

低出生体重児のリスクを減らす。

健康的な妊娠を促す。

幼児の睡眠を改善する。

母乳育児率が向上する。

・母親へのメリット

妊婦健診の頻度が増える。

妊娠中の母親のタバコの使用を減らす、

母親の抑うつ状態が軽減する。

10代の親の場合、父親が積極的に関与することで、母親のうつ病が減少する。

母親の健康にプラスの影響を与える。

両親の関係の質が向上する。

未婚の母親の抑うつやストレスを軽減する。

母親がキャリア目標を追求する際のサポートが増える。

・父親のメリット

父親は他の男性よりも経済的に豊かである。
父親は地域社会や社会的ネットワークとの結びつきが強い。
父親であることによって、男性に健康増進へのモチベーションを与える。
父親であることによって、新たな目的意識と意義が生まれる。
子どもが父親を奮い立たせ、パートナーや雇用主との関係を改善させることができる。

(4) ステップ・バイ・ステップ：父親を家族プログラムに参加させる為に (43 ページ)

STEP BY STEP: Engaging Fathers in Programs for Families

Best Start Resource Center (オンタリオ州政府から資金も受けている団体)

<https://resources.beststart.org/wp-content/uploads/2019/01/J12-E-1.pdf>

「内容 43 ページに渡るものであり、父親の育児への積極的な関わりの具体的な取り組みがマニュアルとして記載されている。」

初めに

- ステップ 1 父親が関わることの影響
- ステップ 2 父親が持つ影響を知る
- ステップ 3 父親の多様性を理解する
- ステップ 4 父親が子どもとどのように関わるかを認識する
- ステップ 5 父親ぶりを評価する
- ステップ 6 可能性のある戦略の概要
- ステップ 7 父親と繋がる。男性へのマーケティング
- ステップ 8 成功のサイン
- ステップ 9 重要な問題を考える

結論,資料,紹介,引用

(5) 父親は重要 地域のサービス提供者が、男性の育児参加への戦略を策定するためのツールキット (72 ページ)

My Dad Matters A toolkit for community service providers to assess and develop strategies for engaging men who care for children

Dad Central Ontario

(団体)

<https://mydadmatters.files.wordpress.com/2016/11/mdm-toolkit-webv2.pdf>

「内容 父親の育児の支援に関わるものが具体的な父親支援を行う場合のマニュアルであり、その具体的なツール等についても記載されているマニュアルである。」

初めに p9

父親を歓迎して迎える原則 p11

父親を迎えるにあたって最初に考慮すべきこと p17

準備 p23

組織的考察 p33

最善の方法の概要 p39

戦略的計画 p51

評価 p59

その他のツールキット p64

その他の資料 p65

引用 p66

(6) 初めて父親になる人の為に 初めの1年に予想すること (31 ページ)

「父親は重要 ツールキット」の両親学級ワークショップ

Just for New Dads What to expect in the First Year A parenting workshop from the My Dad Matters toolkit Dad Central Ontario (団体)

<https://dadcentral.ca/wp-content/uploads/Workshop-Just-for-New-Dads.pdf>

「内容 具体的な父親のニーズ (初めての父親, キャリア志向の父親, 移民の父親など) などに合わせて作成されたマニュアル。」

①今私は親です。若い父親のための効果的なファザーリング

「父親は重要 ツールキット」の子育てワークショップ

I'm a Parent Now Effective Fathering for Young Dads A parenting workshop from the My Dad Matters toolkit

Dad Central Ontario (団体)

<https://dadcentral.ca/workshop-manuals/#Workshop-for-Handling-Stress>

若い父親 / 10代の父親たちに参加してもらい、父親としての役割を果たす方法について理解を深めるのに役立つ。

②将来は重要 キャリアプランに役立つ戦略 Future Matters Building Strategies to Help with Career Planning

Dad Central Ontario (団体)

<https://dadcentral.ca/workshop-manuals/#Workshop-for-Handling-Stress>

③何故ストレスを感じるのか。父と子のストレスのつながり

Why We Stressin' The Father-Child Stress Connection

Dad Central Ontario (団体)

<https://dadcentral.ca/workshop-manuals/#Workshop-for-Young-Dads>

ストレスが子どもの発達中の脳に与える影響を

取り上げ、ストレスを特定し管理するための方法について学ぶ。

このワークショップの主な参加対象は、刑務所や児童福祉施設などにいる父親、社会から疎外され、人種差別を受けたり、パートの仕事をしており幼い子どもを持つ父親です。

④カナダに移民してきた父親へのワークショップ

Fathers in a New Land Adjusting as Dads New to Canada

Dad Central Ontario (団体)

<https://dadcentral.ca/workshop-manuals/#Workshop-for-Handling-Stress>

(7) スーパー・パパ・スーパー・キッズ・プログラム

Super Dads Super Kids Program

Dad Central Ontario (団体)

<https://dadcentral.ca/super-dads-super-kids/>

「内容 より具体的で実践的な父親支援のプログラム集であり、子どもと父親のよりよい関わりを促進するためのもの。」

エビデンスベースであり、父子で参加する8回コースのプログラム

(8) スーパー・パパ・スーパー・キッズ・プログラム ファシリテーターのマニュアル

Super Dads Super Kids Program Facilitators Manual
Dad Central Ontario (団体)

<https://dadcentral.ca/resource-store/shop/en/training-and-manuals/super-dads-super-kids-program-manual/>

「内容 有料の父親支援マニュアル。父親支援の具体的なマニュアル」

(9) ファザーズ・クラブ・マニュアル (156 ページ)

男性が妊産婦、新生児、子ども、性とリプロダクティブ・ヘルスに参加させる為の多国間 SHOW プログラム

FATHERS'S CLUB MANUAL

ENGAGING MEN IN MATERNAL, NEWBORN AND CHILDREN, AND SEXUAL AND REPRODUCTIVE HEALTH FOR THE MULTI-COUNTRY SHOW PROGRAM

SHOW Program The Strengthening Health Outcomes for Women and Children Program

女性と子どもの健康成果強化プログラム

Promundo (団体)と Plan International Canada (80カ国以上が参加する Plan International Works のカナダの団体) がバングラデシュ、ガーナ、ハイ

チ、ナイジェリア、セネガル共和国とカナダの The Strengthening Health Outcomes for Women and Children (SHOW) プログラムチームスタッフと現地のパートナーのスタッフの為に作成したエビデンスに基づいたマニュアル

<https://men-care.org/wp-content/uploads/2020/04/SHOW-Fathers-Club-Manual-Jul-2020.pdf>

「内容 国際的な協力のもとに作成された父親の育児への参画を行うためのマニュアル。」

(10) 思いやりのある父親

Caring Dads

ドメスティックバイオレンスの加害者である父親の為に介入プログラム

Caring Dads (団体)

<https://caringdads.org/about-caring-dads-1>

「内容 DVの加害者である父親への介入と支援のためのマニュアル。」

【アメリカ合衆国 父親支援に関するプログラムマニュアル】

(1) 「責任のある父親 ツールキット」(76ページ)

Responsible Fatherhood Toolkit Resources From the Field

National Responsible Fatherhood Clearinghouse

児童家庭局 (Office of the Administration for Children and Families) の家族支援室 (Office of Family Assistance(OFA)) (連邦政府) の基金によって作成された。

https://www.fatherhood.gov/sites/default/files/resource_files/e000002752.pdf

「内容 父親支援の総合的なマニュアルとツールキットであり、様々な視点から父親支援のありようについて述べている。」

目次

始めに	P3
ツールキットの機能	P6
謝辞	P7
責任ある父親のフィールドの開発	P9
パイオニア	P9
90年代の発展	P9
より広い政府の範囲で	P10
地域の努力	P13
現在の焦点	P14
プログラムを始める	P17

企画とデザイン	P18
職員	P28
予算と募金活動	P33
文書化することと持続性	P35
一番重要なこと	P35
役に立つ資源	P38
自分達のプログラムを作る	P39
コミュニケーション	P39
リクルート	P43
一番重要なこと	P53
役に立つ資源	P53
父親たちと一緒に活動する	
1対1の活動	P55
グループ活動	P60
アクティビティ	P67
振り返りと気づき	P67
ペアレントスキル	P70
コミュニケーションスキル	P71
1対1のアクティビティ	P72

(2) 「出生から5歳までの父親との関わりについてのガイドブック」

Birth to 5 Father Engagement Programming Guide
 米国政府保健福祉省 (U.S. Department of Health and Human Services (HHS))

<https://eclkc.ohs.acf.hhs.gov/family-engagement/birth-5-father-engagement-guide/download-birth-5-father-engagement-guide>

「内容 アメリカのヘッドスタート計画に基づく5歳児までの子どもを持つ父親支援のマニュアル。様々な支援スタッフを対象として作成されている。」

このガイドブックは、父親と交流する全てのヘッドスタートのスタッフ（プログラム・リーダー、マネージャー、ファミリーサービスワーカー、父親コーディネーター、教師、家庭訪問員、保健士や家族が目的地へ移動する際のドライバーなど直接的に関わるスタッフ）のために作成されている。また、ペアレントリーダー、コミュニティ・パートナーとトレーニングと技術協力 (TTA) 専門家にも役立つ。

出生から5歳までの父親との関わりについてのガイドブック 序説 (15ページ)

プログラムリーダーが、父親とこどもの良い関わりを手伝う方法 (19ページ)
 継続して学び、質の向上のために父親に焦点を当てたデータを使う方法 (17ページ)
 幼年期のプログラムで父親にフレンドリーな環境をつくること (18ページ)
 父親とパートナーシップを築く方法 (15ページ)
 父親の教育参加を促進するプログラムの方法 (17ページ)
 父親が地域連携する為のプログラムの方法 (14ページ)
 父親にアクセスとサービスの連続性を提供するプログラムの方法 (15ページ)

(3) ヘッドスタート Head Start

米国政府保健福祉省 (U.S. Department of Health and Human Services (HHS))

社会的に不利益な立場にある子どもの早期発達支援プログラムであり、主に3-4歳の子どもを対象とした補償プログラムであるが、0-5歳や、妊産婦、家庭の包括的支援が行われている場合もある。低年齢児対象のものは、プレ・ヘッド・スタートともいわれる。予算は基本すべて連邦州政府によるが、委託事業者によって実施されている。基本、保護者負担はなく、無償である。The United States National Evaluation of Early Head Start (2003)の研究結果では、「ヘッドスタートプログラムは、学校での成績、家族の自立、子どもの発達に関する親の支援について、効果をもたらしている。子どもの認知的・言語的な発達に効果があり、プログラムに参加した子どもは親との交流に積極的である。また親が教育や職業訓練に参加することを増やし、親の自立の助けにもなっている。」

(4) より父親を育児に参加させるようにする為のツール (2019年)

(FATHER INVOLVEMENT TOOLKIT)

アメリカ合衆国保健福祉省 (Health Resources and Services Administration) のグラントによって、フロリダの妊婦と乳幼児への訪問事業イニシアティブ

(Florida Maternal Infant & Early Childhood Home

Visiting Initiative)

(連邦政府、フロリダ、自治体の予算によって行われている)が作成した。

<https://www.flmiechv.com/for-programs/resources/father-involvement-toolkit/>

「内容 以下に示す複数のコンテンツから成り立つ父親支援マニュアル。」

- ・ 父親の育児参加への州のイニシアティブ Father Engagement State Involvement Initiative

- ・ インクルージョン計画 Inclusion Plan

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/Inclusion-Plan.pdf>

- ・ エンゲージメント計画 Engagement Plan

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/Engagement-Plan.pdf>

- ・ 父親のインクルージョンとエンゲージメントへの障壁 Barriers to Father inclusion and Engagement

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/Barriers-to-Father-Inclusion-and-Engagement.pdf>

- ・ 父親のインクルージョン対父親のエンゲージメント Father Inclusion vs Father Engagement

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/FATHER-INCLUSION-VS-FATHER-ENGAGEMENT.pdf>

- ・ 父親が参加する為の(地域などの)パートナーのリスト List of Key Partners for father involvement

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/List-of-Key-Partners-for-Father-Involvement.pdf>

- ・ 父親のインクルージョンとエンゲージメントの為の政策 Creating Policies for Father inclusion and Engagement

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/Creating-Policies-for-Father-Inclusion-and-Engagement.pdf>

- ・ 父親を知るための質問 Getting to know him

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/Getting-to-Know-Him.pdf>

- ・ 父親のインクルージョンとエンゲージメントの価値についてのファクトシート Value of Father inclusion and Engagement Fact Sheet

<https://www.flmiechv.com/wp-content/uploads/Value-of-Father-Inclusion-and-Engagement-Fact-Sheet.pdf>

(5) ポジティブな育児：父親になるヒント ワークショップのガイドライン (1996年)

POSITIVE PARENTING: TIPS ON FATHERING. WORKSHOP GUIDELINES.

Childrens's Trust Fund (Madison, WI) (NPO) が作成した。

https://www.fatherhood.gov/research-and-resources/positive-parenting-tips-fathering-workshop-guidelines?f%5B0%5D=resource_topic%3A72&f%5B1%5D=resource_type%3A52&f%5B2%5D=resource_type%3A58&f%5B3%5D=resource_type%3A63&f%5B4%5D=year_published%3A1996

「内容 父親向けの子育て教育プログラムのマニュアル。父親の興味と学習に焦点を当てて作成されたもの。」

このマニュアルは、父親学級の為のモデルとなるカリキュラムとリソースを提供する。特に父親の興味と学習スタイルについて焦点を当てている。

・ 8つのワークショップについての説明をしている。

1. 父親になること
2. 遊ぶこと
3. しつけについて
4. 聞くこと
5. 築く
6. 探求すること
7. 成長すること
8. 祝うこと

・ ファシリテーターの為の情報として、下記についての説明がある。

1. 子どもにとっての父親の重要性
2. 父親フレンドリーな環境をつくる方法
3. 新生児から3才までの子どもの発達
4. レシピ
5. プロジェクトと活動についてのアイデア

推薦する本と子どもの安全についての配布資料も含まれる。

(6) 父親プログラムの育成

The Nurturing Fathers Program

Center for Growth & Development, Inc. (民間) が作

成

<https://nurturingfathers.com/>

<https://nurturingfathers.com/nfprogram/>

「内容 父親支援のマニュアルとワークブックから構成されている。」

エビデンスベース（根拠に基づく）である13週間の父親のクラス。（8-16名の父親のグループで行うクラス）1回のクラスは2時間半で、健康的な家族の関係や子どもの発達についての授業を行う。学校、ヘッドスタート、教会、外交安全保証局、刑務所、ハーフウェイハウス(社会復帰の為の施設)、虐待防止、両親学級、カウンセリングセンター、軍、地域活動機関などで使用されている。テキストは、購入が必要（英語とスペイン語）

<https://nurturingfathers.com/nfprogram/>

目次

- 1 週目 父親になる根底
- 2 週目 自身を育てるスキル 1 父親になる「自分の小さい子」
- 3 週目 自身を育てるスキル 2 自分のニーズに合う力
- 4 週目 感情の世界と、男性教育
- 5 週目 教育への力: 暴力や脅しを使わない父親
- 6 週目 父親教育への障壁の克服: 怒り、アルコールや薬物、ストレス
- 7 週目 しつけと楽しむこと&ゲーム
- 8 週目 父親と子どもが楽しむこと&ゲーム
- 9 週目 関係を築く教育 1 : 父親と息子/父親と娘
- 10 週目 関係を築く教育 2 : 夫婦のチームワーク
- 11 週目 父親業をする時間と場所
- 12 週目 父親の傷を癒す
- 13 週目 卒業式と最後の活動

下記のany baby canのウェブサイトから「バーチャルクラス」の受講可能

<https://anybabycan.org/programs/parenting-classes/>

(7) Dads Rock Engagement Toolkit

映画「The Building Community, Building Hope film Dads Rock: Nurturing Father Engagement」を見て使うツールキット

「The Building Community, Building Hope」の映

画は 政府であるChildren's Bureau's Office on Child Abuse and Neglect (CB/OCAN), Administration for Children and Families, U.S. Department of Health and Human Services, through the National Child Abuse and Neglect Technical Assistance and Strategic Dissemination Center (CANTASD)の基金によって作られた。

https://cantasd.acf.hhs.gov/wp-content/uploads/DadsRockEngagementTK_FIN.pdf

「内容 映画話題材として父親の支援者の有り様を学ぶ教材である。」

(8) National Fatherhood Initiative (非営利団体)

父性に関するプログラムのテキストを無料・有料で提供している。

<https://www.fatherhood.org/getting-started>

「内容 父親支援の取り組みや、プログラムなどに関するマニュアル。」

(9) National Child Welfare Workforce Institute (大学) (20ページ)

I 児童福祉における父親の効果的な関与の組織的指標

IOrganizational Indicators of Effective Father Engagement in Child Welfare

II 父親が育児に関与するための発展と実践モデルの戦略

(何故、父親の支援をするべきかの研究結果も載っています。)

II. Strategies for Developing & Implementing Policies & Practice Models to Effectively Support Father Engagement

https://www.ncwwi.org/files/Father_Engagement_in_Child_Welfare_Summary_Information.pdf

「内容 父親支援における指標や具体的な支援の項目などをリスト化している。」

以上カナダ、アメリカの「父親支援プログラム」とそれに関わる「マニュアル」収集の結果である。実施主体は、政府や州などの公的セクターのものもあれば、公的な機関の資金等の援助を得た上でNPOや民間団体が作成をしているものもある。父親支援をどのような視点やレベルにおいて取り上げ、実施をするかによりそれらは異なることが

明らかとなった。単にプログラムの提供を目指したのではなく、父親自身のウェルビーイングや家族全体の幸福や福祉的な視点なども取り入れられている。

また対象となる父親もいわゆる一般的な父親のものもあれば、特定のニーズに応じた対象者を限定したものもある。父親支援の取り組みの中で、その対象者が拡散しそのニーズに応じた形で発展したと考えられる。

2. 父親支援マニュアルの試案の作成

父親支援マニュアル作成のためにこれまでの好事例集や、全国のさまざまな父親支援プログラムの取り組みなどを参考にして、研究班内で検討を行った。マニュアル作成の前段階として、これらの取り組みについての執筆の確認を執筆要綱という形でまとめた。

○執筆要項

【目的】

全国の基礎自治体の父親支援に関わる担当者が、実際の父親支援の取り組みを行う際に、有用となるマニュアルの作成を行う。父親支援実施に向けてのスタンダードな内容を整理し、父親支援の取り組みに対しての基礎的理解と具体的な取り組みに沿ったマニュアルの作成。

・これから父親支援に取り組もうとする担当者にとって使いやすいもの

・実際に取り組みができそうに思える内容のもの

・父親支援の取り組みに対してモチベーションが高まるもの

【対象】全国の基礎自治体（市町村）の父親支援に関心、取り組みを行う担当部署、担当者。母子保健担当者を基本としながら、子育て支援、家庭教育、男女共同参画、社会教育等、行政内の多様な領域における父親支援に関わるもの。

・母子保健等に関わる、医師、保健師、助産師等の専門職

・関連領域に関わる担当管理者

・業務の実際の企画、立案、実施担当者の一般職

員

これら執筆要項の確認を行い具体的な章立てを行なった。全体として5章構成とした。章立ての内容は以下のとおりである。またそれら各章ごとの具体的な内容として節を設けた。現段階における内容であり、全体の執筆状況や多少とのバランスや内容により、変更も予想しながら執筆を進めていく。

【章立て】

第1章 父親支援に必要な基本事項

導入部分としてエッセンス、端的に記載

第2章 父親支援プログラムのポイント

父親支援の理論的理解、前提として

第3章 事業構築のアプローチ

支援者マニュアルも活用しながら構成を考える

第4章 具体的な支援策

支援者マニュアルも活用しながら構成を考える

第5章 父親支援プログラムの実際

好事例を参考にする。新しい情報等を含めて記載のフォーマット検討

第1章においては「父親支援に必要な基本事項」をベースとして、マニュアル全体を俯瞰しその意義や社会的な状況など、父親支援全版の理解ができるものとする。第2章は「父親支援プログラムのポイント」として、具体的な父親支援プログラムの実施の視点や現状のデータなどを駆使し、理論的に父親支援プログラムの理解を進める。第3章は「事業構築のアプローチ」として、父親支援プログラムの実施に関する事業計画や行政内における進行について記載する。第4章は「具体的な支援策」として、父親支援プログラムの実際の取り組みやそのサポートについて記載する。そして第5章は「父親支援プログラムの実際」として、さまざまな自治体等の父親支援プログラムの実際や、それらの工夫や特徴について記載をする。

○父親支援マニュアル章立て（案）の作成

←

←

第1章 父親支援に必要な基本事項 ←

- ・父親を取り巻く状況 ←
- ・父親支援の変遷 ←
- ・父親支援の必要性と意義 ←
- ・父親を支える制度と法律 ←

第2章 父親支援プログラムのポイント ←

- ・父親の健康・幸福の視点 ←
- ・父親から家族を支える視点 ←
- ・父親のニーズの変化への対応 ←
- ・ピアサポートの導入 ←
- ・父親支援の基礎データとエビデンス（情報の整理・データのみ巻末に載せる？） ←

第3章 事業構築のアプローチ ←

- ・事業計画 目的と意義 ←
- ・プロセス ←
- ・ニーズ調査とアセスメント ←
- ・予算 ←
- ・人材 ←
- ・父親リクルート ←
- ・事業の振り返りと評価（プロセス指標,アウトカム指標,） ←
- ・他担当部局との連携 ←

第4章 具体的な支援策 ←

- ・自治体の直接プログラム ←
- ・自治体の間接プログラム（コラボレーション） ←
- ・特定ニーズのある父親へのプログラム ←
- ・チェックリスト（環境,男女共同参画,父親の主体性,） ←
- ・レシピ集 ←
- ・教材、ツール集（リンク,ワークシート） ←
- ・活用できる社会資源（NPO,） ←

第5章 父親支援プログラムの実際 ←

- ・父子手帳 ←
- ・両親学級 プレパパ ←
- ・家事講座 ←
- ・父親仲間づくり ←
- ・パパと遊ぼう ←
- ・パパと作ろう ←
- ・パパと食べよう ←
- ・パートナーシップ講座 ←
- ・ワークライフバランス講座 ←

D. 考察

1. 父親支援マニュアルの意義

父親支援の必要性が高まってきており、法律の成立や改定などによりそれらが明文化されてきている。また国による様々な子育て支援の取り組みや方向性においても、父親の育児のあり方についての記載があり、社会全体で父親支援の機運は高まりつつある。しかし一方でそれらの機運とは反対に、実際の父親支援の取り組みは低調である。その大きな要因の一つが「実際に取り組もうとしてもそれらのやり方や具体的な方法の欠如しており始めるきっかけが不明」という事が、これまでの調査から明らかになってきた。換言すればこれまで子育て支援や母子保健の様々な事業においては、父親自身がその対象とされておらず、現場レベルでの蓄積がほとんどされていない。また同時にそれらの取り組みがない中で、父親支援の具体的なエビデンスなどが構築されていなかった。一部の先駆的な取り組みや担当者の思いなどがある場合に限り、一時的に父親支援の取り組みがなされてはいるが、継続性や発展性において課題があり、単発の事業や数年で廃止されているものなども多く見られる。父親支援という存在が脆弱なものであり、全国的に継続し、また多くの自治体で活発になっているとは、言い難い状況が続いている。多くの自治体において、父親支援の必要性は感じながらもその意義や取り組みは、副次的なものである。

そのような状況において、全国の取り組みを理解した上での父親支援の具体的なマニュアルの存在は、今後の父親支援のありように一石を投じるものである。もちろんこのマニュアルが完成したからといって、すぐに全国的な父親支援が活性化し、全国津々浦々に浸透するとは考えにくい。しかしこれまで想いはあっても具体的な一歩を踏み出すことができなかつたり、何からどう始めたら良いのかわからず事業化できていなかった自治体に対して、これらのマニュアルは大きな示唆を示すものとなり得る。実現の一步手前にある意識、期待レベルであった父親支援を、実施レベルまで押し上げる一つのツールであると考えられる。

父親支援は本邦においてはまだ始まったところであり、現在は父親支援の萌芽期であるといえる。全国で様々な取り組みが散発的になされている。またそれらの実施団体も、自治体などの公的なもの、NPO やボランティア団体などの社会セクター、保育所や幼稚園の父親の会などの独自の取り組みなど、本当に多種多様である。もちろんその裾野の広がりはとても貴重なものであり、それらの活動ひとつひとつは素晴らしいものである。しかしそれらは単にその団体独自の取り組みであり、その対象や期間や内容は様々であるものの、社会的、地域的、時間的に限定的なものである。その取り組みの蓄積や効果が極めて狭い範囲で止まっている。

本研究はそれらの多様な父親支援の取り組みを収集し、専門的な知見をベースに分析を行い、それらのエビデンス根拠のある父親支援の一般的なマニュアルの作成を目指すものである。これらはこれまで行われていない、大変意義のある取り組みである。これらにより今後の父親支援の全国的な広がりを目指し、またそのことが父親のウェルビーイングの向上に寄与し、子どもや母親も含めた家族の幸福に資することを目指している。

2. 父親支援マニュアルの今後の活用と課題

本研究は父親支援マニュアルの作成を目指すものであるが、同時にそれらを完成させて終結するものではない。最終的にこれらの父親支援マニュアルが全国の自治体等で活用され、父親支援の活動の活性化を目指している。そのためには質の高いマニュアルの作成をまずは目指し、その上で今後それらが全国的に活用されるための、具体的な方法や取り組みも同時に進める必要がある。それらの具体的な活用や周知の方法や、全国の自治体への効果的な発信、周知の方法は今後の課題として検討を行う。

また父親支援マニュアルの活用の課題として以下の2点を挙げておく。

① マニュアルの作成後の周知と社会的な発信の必要性

マニュアルの作成後にそれらの活用がどれくらいなされるかは、現時点においては不透明であ

る。これらの展開においては、質が高く利用しやすいマニュアル作成が必要となる。また同時にそれらのマニュアルをどのように、関係者や社会全体に発信していくかが重要になる。これまで研究班として、厚生労働省・こども家庭庁などの官公庁、自治体や各種専門職団体における母子保健領域の研修会、などにおいて積極的に父親支援に関わる情報を発信してきた。今後もこれらの取り組みを行い、より効果的で広い情報の発信を行いたい。またそのための工夫や取り組みを今後検討していく。

② マニュアル活用のための人材の育成

マニュアルはさまざまな職種や担当者が、利用しやすいものを目指して作成する。しかし多くの場合初めて行う父親支援のプログラムや事業において、必ずしも全てが成功、あるいは効果的なものになるかは未知数である。そこにはやはり実際の取り組みを行う、担当者の資質や能力が求められる。そのような父親支援に対する意識や思い、専門性を持った担当者や職員の育成が必要である。マニュアルはできる限り初心者においても活用ができるようなものを目指す、同時に人材の育成も必要となる。これらはマニュアルの周知と同時に、研修や講演会などを通じて、取り組みを検討していく必要がある。

E. 結論

父親支援プログラムの実施に向けたマニュアルの作成について、海外や日本のさまざまなプログラムや好事例を参考に調査、分析を行った。それらをもとにして父親支援マニュアルの基礎的な枠組みの構築を行い、それらの内容について検討を行ってきた。今後はこれらの枠組みをベースに具体的なマニュアルの作成を行い、父親支援プログラムの全国的な浸透をめざす。

謝辞

父親支援のプログラムの収集や好事例のについてご協力いただいた、自治体職員、関係者各位に感謝いたします。ありがとうございました。

引用文献

- 1) Akiko N, Yuichi F, Mayumi K, et al. Paternal postnatal depression in Japan: an investigation of correlated factors including relationship with a partner. *BMC Pregnancy Childbirth*. 2015. 15:128. doi: 10.1186/s12884-015-0552-x.
- 2) 竹原健二, 須藤茉衣子. 父親の産後うつ. *小児保健研究*. 2021.71 (3), 343-349.
- 3) Hidekazu N, Taku O, Toshie N. The prevalence and risk factors for postpartum depression symptoms of fathers at one and 6 months postpartum: an adjunct study of the Japan Environment & Children's Study. *The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*. 2020. 33(16).
- 4) Keita Tokumitsu, Norio Sugawara, Kazushi Maruo, Toshihito Suzuki, Kazutaka Shimoda, Norio Yasui-Furukori. *Annals of General Psychiatry*. 2020.19(41). doi: 10.1186/s12991-020-00290-7
- 5) Emily EC, Ivan DS, Lianne MT. Prevalence of paternal depression in pregnancy and the postpartum: An updated meta-analysis. *Journal of Affective Disorders*. 2016.206,189-203.
- 6) 小崎 恭弘. 父親支援に関する全国自治体調査について. *Child research net*. 2016. <https://www.blog.crn.or.jp/report/02/220.html>. (2023.3.29 アクセス)
- 7) 竹原健二, 加藤承彦. 令和2年度 厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業) 分担研究報告書 父親支援に関する海外調査~諸外国における父親支援に関する情報収集~. 2021.
- 8) 佐藤千晶. カナダにおける若い父親のための子育て支援事業--カナダ・オンタリオ州 Young Fathers Program の現地調査から. *上智社会福祉専門学校紀要*. 2010; 5 41-49.
- 9) 坂本純子. カナダにおける父親支援. 別冊発達. *ミネルヴァ書房*. 2017; (33):48-53.

F. 研究発表

論文発表

- 1) 高木悦子, 小崎恭弘, 阿川勇太, 竹原健二. 全国地方自治体で実施されている父親を主な対象とするポピュレーションアプローチ事業の実施状況調査結果報告. *日本公衆衛生雑誌*. 2023;70(8):483-494. (査読あり)

2. 学会発表

- 1) 小崎恭弘 全国自治体における父親支援の
取り組み ―母子保健部局と子育て支援部局
の調査より―. 第76回日本保育学会(熊本)
2023.

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

